

# 手芸倶楽部新聞

2014年  
11月13日号  
第20号



## 伊藤機能訓練指導員より

今回はクリスマスツリーに見立てた作品を仕上げました。短時間で手軽に出来、見栄えも良く、クリスマス気分を盛り上げる作品になりました。

次回は全階利用者様対象で十二月九日（火）地域交流室にて十五時より開催予定です。次回もクリスマスにちなんだフラワーアレンジメントをご用意いたします。お楽しみに。見学者大歓迎です！

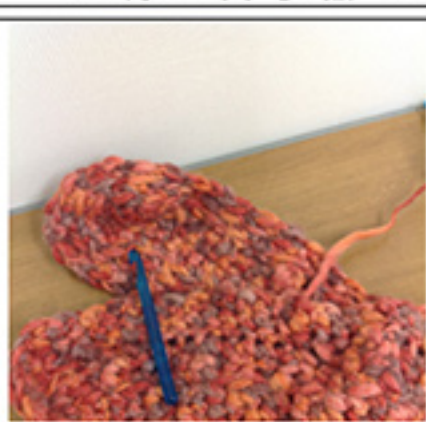
## 手芸のコツ

プログラムを用意する時に、気を付けていることがあります。それは、作ったものをその後、活用できるかどうかです。ご利用者様が作る作品は、想像以上に手間暇をかけ、時間をかけ、やっとながったものなのです。単なる飾り物で居室に埃をかぶったまま置いておくのは、本人もつまらないはず。造化フラワーアレンジメントも、新しいのを活ける前に、古いアレンジメントを撤去してもらいます。常に新しい造花を、居室にひとつだけ飾って頂く為です。また、マスコット人形より巾着袋、タペストリーより花布巾のように、プレゼントにしても喜ばれる実用的な物や、消耗品をセレクト。また作ってみたくなるようなプログラムが選べるように、考えています。

## 新メニュー紹介

新メニューというほどではありませんが、季節柄編み物をお勧めするケースも増えてきました。参加されているみなさまに、編み物を勧める場合、戸惑いが無いように、少しだけ職員が編んでからお渡しするようになっています。

何を編むか考え、大きさを調節するという作業を軽減し、編み物を楽しんでいただきたいと思い、工夫しています。以前、毛糸と針を渡しても、編み物がすすまなかったご利用者様が、職員が直径三センチ程の円を編んで、それをお渡ししたら、よびむことなく編みすすめ、円形アクリルたわしをあっという間に編んでしまった！というところもありました。写真は、ひざ掛けを編んでいたところ、職員が二センチ程編んでご利用者様にお渡しした所、ぐるりと編みすすめられ、マフラーのようになった例です。



第二十回の手芸倶楽部は、クリスマスツリーの様なアレンジメントを用意しました。皆さんに、季節を感じて頂けたことと思います。



縫製組は、ショートステイのご利用者様を中心に、刺し子に夢中！美しく色合わせをしながら、複雑な模様を縫い取っていきまし。豪華な美しい布巾が徐々に出来上がっています。新年用にちようどいいですね！



編集後記：仕事が終わって自宅のソファーにごろり。テレビを観るだけでは、何となく時間ももったいない。そんなとき私は、布巾に刺し子を縫ったり、編み物をしたりします。もちろん、テレビを観ながらコーヒー飲みながら、回楽を兼ねてです。桜園の手芸倶楽部も、手芸ファンだったご利用者様が、昔すごしていた回楽を、思い出してもらえそうな気取らないものにしていきたいと思っています。作りたいもののリクエストもお待ちしています。次回はパッチワークの達人！のボランティアさんをご紹介します。